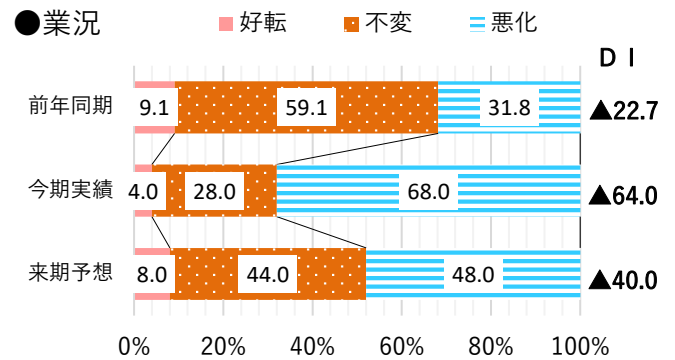


卸 売 業

業況、売上、採算

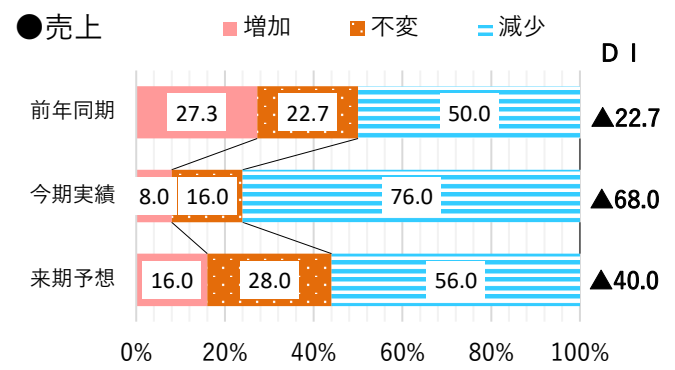
今期(2020.4～6)の業況判断DIは▲64.0で、前年同期(2019.4～6)と比べ41.3ポイント低下し、大幅に悪化しました。

来期(2020.7～9)は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。



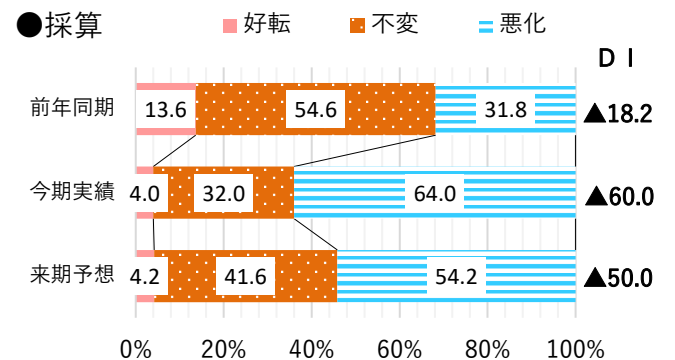
今期の売上DIは▲68.0で、前年同期と比べ45.3ポイント低下し、大幅に悪化しました。

来期は、売上の減少傾向が弱まると予想しています。

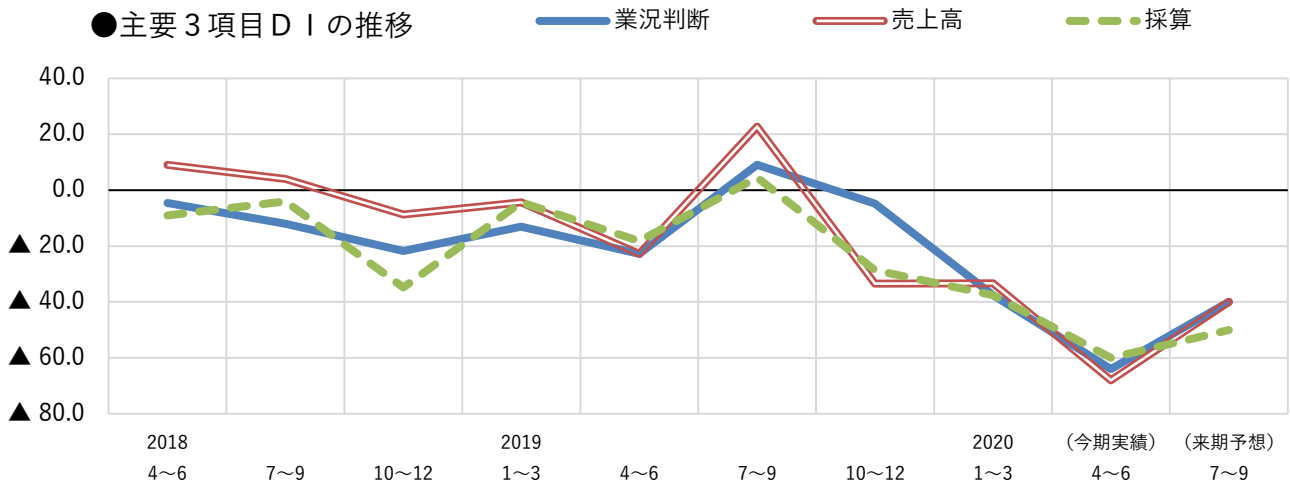


今期の採算DIは▲60.0で、前年同期と比べ41.8ポイント低下し、大幅に悪化しました。

来期は、採算の悪化傾向が続くと予想しています。



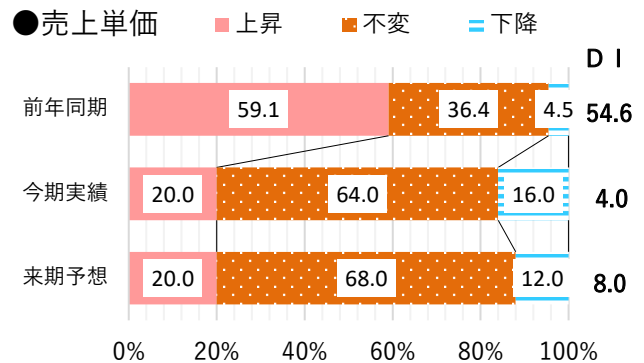
●主要3項目DIの推移



売上単価、商品仕入単価

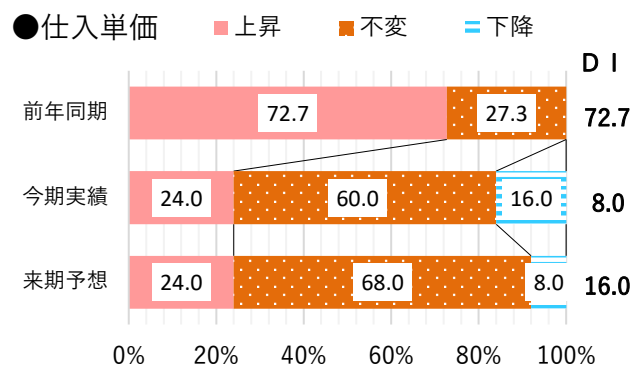
今期の売上単価DIは4.0で、前年同期と比べ50.6ポイント低下し、大幅に悪化しました。

来期は、売上単価に大きな変化はないと予想しています。



今期の仕入単価DIは8.0で、前年同期と比べ64.7ポイント低下し、大幅に下降しました。

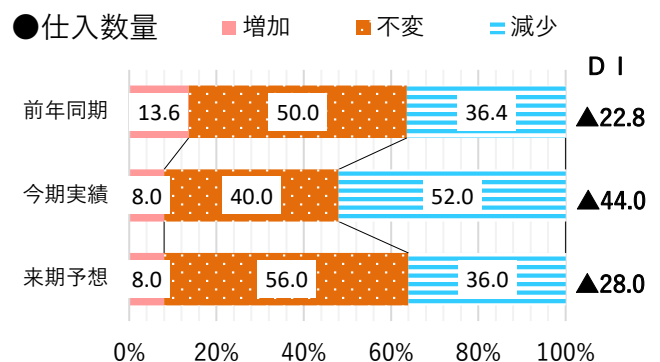
来期は、仕入単価に大きな変化はないと予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

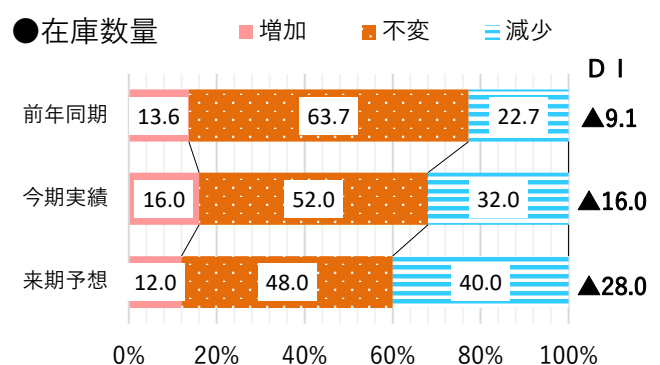
今期の仕入数量DIは▲44.0で、前年同期と比べ21.2ポイント低下しました。

来期は、仕入数量の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲16.0で、前年同期と比べ6.9ポイント低下しました。

来期は、在庫数量の減少傾向が強まると予想しています。



従業員、今期の雇用状況

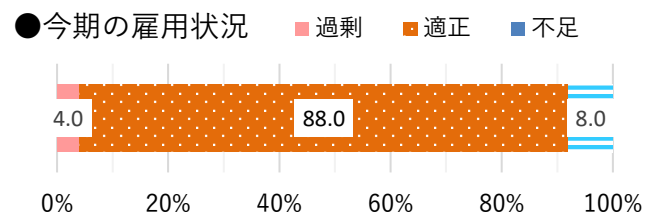
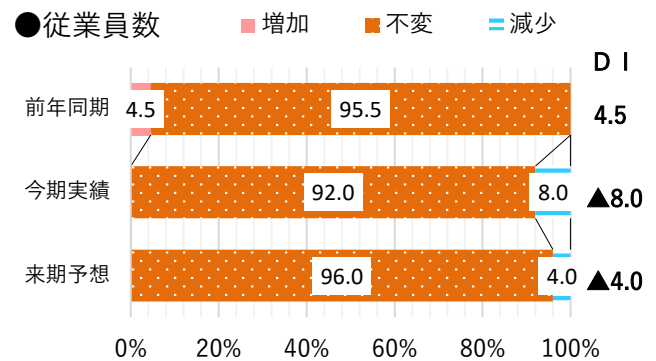
今期の従業員DIは▲8.0で、前年同期と比べ12.5ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、従業員数に大きな変化はないと予想しています。

今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は4.0%、適正であると回答した企業の割合は88.0%、不足していると回答した企業の割合は8.0%でした。

従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の80.0%を占めています。

次いで多かった回答は「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」「従業員数は前年同期比で減少し、充足している」という回答でした。

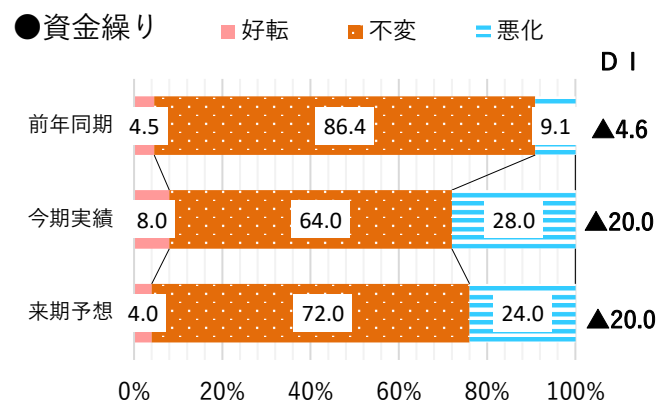


| 従業員数変化 | 雇用状況 | 回答数 |
|--------|------|-----|
| 増加した | 過剰 | 0 |
| | 適正 | 0 |
| | 不足 | 0 |
| 不変だった | 過剰 | 1 |
| | 適正 | 20 |
| | 不足 | 2 |
| 減少した | 過剰 | 0 |
| | 適正 | 2 |
| | 不足 | 0 |

資金繰り、設備投資

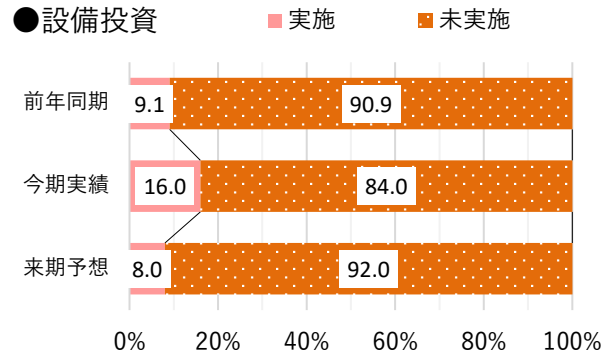
今期の資金繰りDIは▲20.0で、前年同期と比べ15.4ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの横ばいを予想しています。



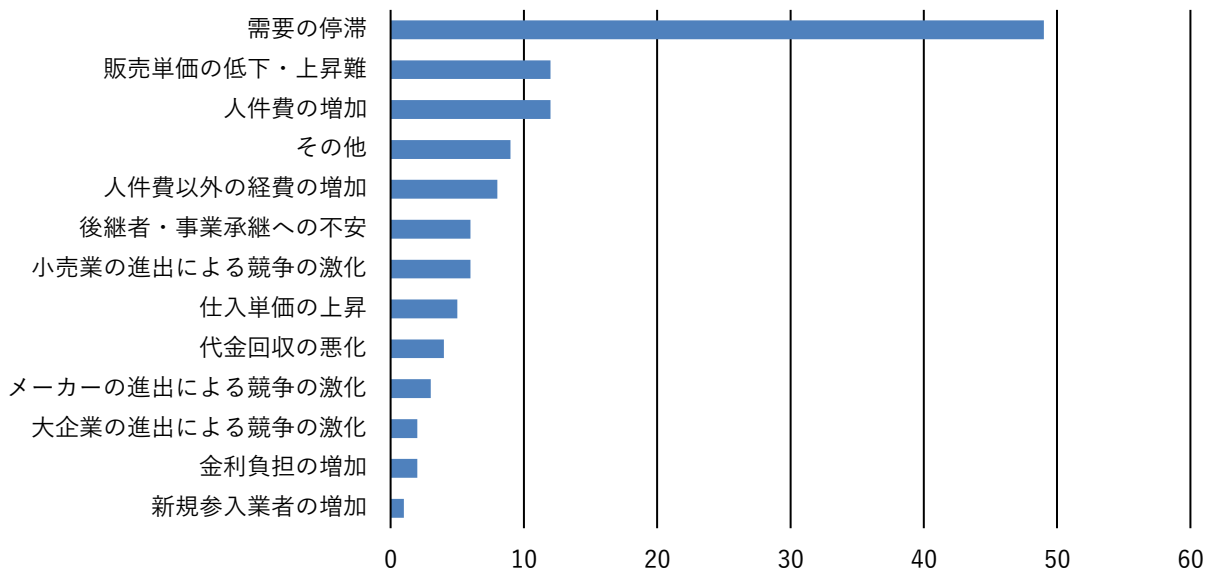
設備投資を実施した企業の割合は16.0%で、前年同期と比べ6.9%増加しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「土地」、「店舗」、「倉庫」（同位）でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は8.0%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「需要の停滞」、2位が「販売単価の低下・上昇難」、「人件費の増加」（同位）、3位が「その他」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 新型コロナウイルスの影響で、観光業、学校、パチンコ店が休業したため、売上が大きく減少した。6月に入り、前年同期比90%まで回復したが、3～5月のマイナス分は取り戻せないとの判断から、計画を下方修正し、改善策を講じている。（食料・飲料卸売）
- 移動自粛による土産品の売上不振、ホテルや食堂の利用者減少による食材需要の低下、物産展の中止等が影響し、業況が悪化した。（食料・飲料卸売）
- 新型コロナウイルスの流行以降、客先の相次ぐ休業、外出自粛により売上が激減した。（食料・飲料卸売）
- 取引先の休業、海外取引先への輸送ルートの減便等が影響し、業況が悪化した。（食料・飲料卸売）
- 売上が減少した。（食料・飲料卸売）
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、倶知安、ニセコ、小樽で民間建築物の取りやめ、延期が数件あったが、新幹線工事、高規格道路工事は動いており、今のところ大きな影響は出ていない。（建築材料卸売）

- 仕事に多少の遅れが生じたものの、ほぼ順調に動いたため、大幅な落ち込みは無い。(建築材料卸売)
- 新型コロナウイルスの影響が出始めている。(建築材料卸売)
- 今のところ、新型コロナウイルスによる売上の落ち込みは小さく、特に問題はない。ただし、新規に受注した仕事は少なく、以前から継続している仕事が大半なので、手放しでは喜べない。(鉱物・金属材料卸売)
- 新型コロナウイルスの影響で売上が減少した。(包装資材卸売)
- 引合い案件の減少が見られる。(電気機械器具卸売)
- 原油価格の下落により、仕入、売上ともに減少した。(石油卸売)
- 3～4月は影響が無かったように思うが、5月の連休明けから問い合わせの電話の件数が減り始め、売上が減少し始めた。(塗料卸売)

[来期の業況について]

- 経費を極限まで圧縮し、社員の生活を守ることを優先しつつ利益を確保する。(食料・飲料卸売)
- 今期に引き続き、売上は減少するだろう。(食料・飲料卸売)
- 業況の改善は期待できない。(食料・飲料卸売)
- 新型コロナウイルスの影響で予定の大幅な遅れや、キャンセルが生じているため、夏以降の動きが全く読めない。これから少しずつ落ち込みが深刻になると思われる。(建築材料卸売)
- 新型コロナウイルスが終息していなければ、今期と同じような業況で推移するだろう。(建築材料卸売)
- 新規案件がほぼ無いため、苦戦するだろう。(鉱物・金属材料卸売)
- 今後の新型コロナウイルスの動向が分からないため、判断できない。(包装資材卸売)
- 大きな好転は期待できない。(電気機械器具卸売)
- 景気が戻り、原油価格が上昇することで売上が増加するだろう。(石油卸売)
- 新型コロナウイルスの影響が建設業界に波及し、全業種に及ぶだろう。倒産する企業も増えると思われる。(塗料卸売)